

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ヨンキユウ

コード番号 9955 URL <http://www.yonkyu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 笠岡 恒三

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 清水 敏雄

TEL 0895-24-0001

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	6,585	△7.7	8	△94.8	45	△78.8	41	△87.4
23年3月期第1四半期	7,138	△4.4	160	—	213	—	329	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 55百万円 (△83.1%) 23年3月期第1四半期 326百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	4.17	—
23年3月期第1四半期	31.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	20,741	17,205	83.0
23年3月期	19,513	17,229	88.3

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 17,205百万円 23年3月期 17,229百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,181	19.4	408	168.8	502	96.8	392	△4.5	39.42
通期	38,364	40.5	397	69.8	582	30.8	421	△5.3	42.34

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社海昇、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P. 3 「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	11,556,084 株	23年3月期	11,556,084 株
----------	--------------	--------	--------------

- ② 期末自己株式数

24年3月期1Q	1,612,607 株	23年3月期	1,612,557 株
----------	-------------	--------	-------------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	9,943,486 株	23年3月期1Q	10,443,976 株
----------	-------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 企業結合等関係	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年6月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により、企業の生産・輸出は大きく落ち込み、また、個人消費も自粛ムードから低迷、さらには原発事故対応の長期化や電力供給問題等により、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

また、当社グループを取り巻く養殖業界におきましても、消費自粛の影響により販売が伸び悩むなど、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループでは、引き続き経営の合理化や経営課題等への迅速な対応・改善に取り組み、収益確保に努めました。

しかし、「鮮魚の販売事業」は、タイ・カンパチの販売数量が減少（前年同期比3.8%減）し、減収となりました。「餌料・飼料の販売事業」では、震災により生餌の供給量の低下等の影響から、餌料・飼料全般で販売価格が上昇（前年同期比6.7%の上昇）し、販売数量の減少分を吸収し、売上高は前年同期と同水準となりました。

一方、利益面では商品の一部で利益率の改善ができたことにより、売上総利益ベースでは増益となりましたが、ハマチの魚価低下の影響により貸倒引当金2億39百万円の繰入れが生じ（前第1四半期連結累計期間では、貸倒引当金繰入額の計上はなし）、販売費及び一般管理費に計上したため、営業利益以下の各利益は減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は65億85百万円（前年同期比7.7%減）、営業利益は8百万円（前年同期比94.8%減）、経常利益は45百万円（前年同期比78.8%減）、四半期純利益は41百万円（前年同期比87.4%減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

区分	平成23年3月期 第1四半期金額 (百万円)	平成24年3月期 第1四半期金額 (百万円)	対前年同期比較	
			金額差異 (百万円)	増減率 (%)
鮮魚の販売事業	5,644	5,097	△546	△9.7
餌料・飼料の販売事業	1,451	1,452	0	0.1
その他の事業	42	35	△7	△16.9
合計	7,138	6,585	△552	△7.7

(注) セグメント間の取引については、相殺消去しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は207億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億27百万円増加いたしました。その主な要因は、株式会社海昇（以下、海昇）の子会社化によるものであります。

流動資産合計は173億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億83百万円増加いたしました。これは主に海昇の全株式取得等により現金及び預金が6億68百万円減少いたしました。一方で、受取手形及び売掛金が16億43百万円増加したことによるものであります。

固定資産合計は34億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億44百万円増加いたしました。これも海昇の子会社化によるのれん4億68百万円の発生や有形固定資産が1億32百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は35億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億51百万円増加いたしました。その主な要因は、上記の通り海昇の子会社化によるものであります。

流動負債合計は30億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億63百万円増加いたしました。これは支払手形及び買掛金が10億81百万円増加したことによるものであります。

固定負債合計は4億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円減少いたしました。これは役員退職慰労引当金が15百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は172億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ24百万円減少いたしました。これは主に剰余金の配当79百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は83.0%（前連結会計年度末は88.3%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績は、前述の通りハマチの著しい魚価低下の影響により、貸倒引当金繰入額2億39百万円を計上しております。

連結業績予想上（修正計画）では、例年年末の出荷数量の増加に伴い価格が低下する12月末時点で貸倒引当金繰入額3億円を見込んでおり、期間損益のズレから対計画比においても営業利益以下の各利益は乖離した状況となっております。

しかし、販売数量・売上高・売上総利益ベースでは、ほぼ計画通りに推移しており、平成23年6月20日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想数値の修正は行わず据え置くことといたします。

なお、今後「業績予想の修正等」に関する開示の必要性が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、株式会社海昇の全株式を取得し子会社化したため、連結の範囲に含めております。なお、みなし取得日が平成23年6月30日であるため、四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書（当第1四半期連結累計期間）には株式会社海昇の業績は含めておりません。

(2) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,682,861	11,014,345
受取手形及び売掛金	3,910,602	5,554,293
有価証券	100,662	100,464
商品及び製品	336,212	459,596
仕掛品	108,602	46,557
貯蔵品	10,665	9,475
短期貸付金	1,369,012	1,143,041
その他	39,847	55,585
貸倒引当金	△839,217	△1,081,016
流動資産合計	16,719,248	17,302,342
固定資産		
有形固定資産	1,734,201	1,867,098
無形固定資産		
のれん	—	468,757
その他	3,159	2,848
無形固定資産合計	3,159	471,606
投資その他の資産		
その他	1,489,600	1,532,622
貸倒引当金	△432,529	△432,529
投資その他の資産合計	1,057,071	1,100,093
固定資産合計	2,794,431	3,438,799
資産合計	19,513,680	20,741,141
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,426,736	2,507,880
未払法人税等	34,755	84,203
賞与引当金	15,051	3,688
その他	317,709	462,420
流動負債合計	1,794,252	3,058,192
固定負債		
退職給付引当金	140,621	143,931
役員退職慰労引当金	349,042	333,334
その他	—	341
固定負債合計	489,664	477,607
負債合計	2,283,917	3,535,800

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,187,615	2,187,615
資本剰余金	2,521,825	2,521,825
利益剰余金	13,315,383	13,277,267
自己株式	△778,391	△778,414
株主資本合計	17,246,431	17,208,292
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△16,694	△2,950
その他の包括利益累計額合計	△16,694	△2,950
少数株主持分	26	—
純資産合計	17,229,763	17,205,341
負債純資産合計	19,513,680	20,741,141

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	7,138,156	6,585,261
売上原価	6,338,127	5,768,223
売上総利益	800,028	817,037
販売費及び一般管理費	639,289	808,673
営業利益	160,739	8,364
営業外収益		
受取利息	32,549	27,154
受取配当金	2,769	2,848
投資不動産賃貸料	17,536	12,673
その他	12,083	12,864
営業外収益合計	64,938	55,540
営業外費用		
投資不動産賃貸費用	5,689	6,426
投資事業組合運用損	4,008	10,918
その他	2,019	1,238
営業外費用合計	11,718	18,584
経常利益	213,959	45,320
特別利益		
固定資産売却益	612	—
貸倒引当金戻入額	153,215	—
役員退職慰労引当金戻入額	—	5,236
特別利益合計	153,827	5,236
特別損失		
固定資産除却損	57	85
投資有価証券評価損	28,812	—
特別損失合計	28,870	85
税金等調整前四半期純利益	338,917	50,471
法人税、住民税及び事業税	9,060	9,066
法人税等合計	9,060	9,066
少数株主損益調整前四半期純利益	329,856	41,405
少数株主損失(△)	△9	△26
四半期純利益	329,866	41,431

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	329,856	41,405
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,682	13,744
その他の包括利益合計	△3,682	13,744
四半期包括利益	326,174	55,149
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	326,183	55,175
少数株主に係る四半期包括利益	△9	△26

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鮮魚の販売 事業	餌料・飼料 の販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,644,149	1,451,688	7,095,837	42,318	7,138,156	—	7,138,156
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	59,549	59,549	47,548	107,097	△107,097	—
計	5,644,149	1,511,238	7,155,387	89,866	7,245,253	△107,097	7,138,156
セグメント利益又は 損失 (△)	8,188	152,872	161,061	△4,198	156,862	3,877	160,739

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社の事業（一般貨物運送事業及びマグロ養殖事業）であります。

2. セグメント利益の調整額3,877千円には、セグメント間取引消去における内部利益△119千円及びその他の調整額3,997千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動、重要な負ののれん発生益の認識はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鮮魚の販売 事業	餌料・飼料 の販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,097,418	1,452,663	6,550,082	35,179	6,585,261	—	6,585,261
セグメント間の内部 売上高又は振替高	55	57,990	58,045	50,228	108,273	△108,273	—
計	5,097,473	1,510,653	6,608,127	85,407	6,693,535	△108,273	6,585,261
セグメント利益又は 損失（△）	99,638	△82,687	16,950	△11,768	5,182	3,182	8,364

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社の事業（一般貨物運送事業及びマグロ養殖事業）であります。

2. セグメント利益の調整額3,182千円には、セグメント間取引消去における内部利益50千円及びその他の調整額3,131千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

5. 前連結会計年度の末日に比べて、当第1四半期連結会計期間の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。その概要については、株式会社海昇の全株式取得による子会社化に伴うものであり、その影響額は、鮮魚の販売事業で645,605千円、餌料・飼料の販売事業で1,060,129千円及び調整額で1,501,829千円がそれぞれ増加しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間において、株式会社海昇を子会社化いたしました。これによる報告セグメントの変更等はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

当第1四半期連結累計期間において、株式会社海昇の子会社化により発生したのれんの金額は468,757千円であります。なお、当該金額は報告セグメントに属さない全社資産（調整額）に含めております。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

(5) 企業結合等関係

当第1四半期連結会計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

取得による企業結合

1. 被取得企業の名称及びその事業の内容、企業結合を行った主な理由、企業結合日、企業結合の法的形式、結合後企業の名称、取得した議決権比率及び取得企業を決定するに至った根拠

(1) 被取得企業の名称及びその事業内容

被取得企業の名称 株式会社海昇
事業の内容 鮮魚販売、餌料・飼料販売

(2) 企業結合を行った主な理由

主たる事業を同じくする株式会社海昇を当社グループに加えることで、取引数量の増加や販売経路の相互補完を通じた相乗効果が見込まれ、コンキョウグループとして更なる成長を目指すためであります。

(3) 企業結合日

平成23年6月14日（株式取得日）
平成23年6月30日（みなし取得日）

(4) 企業結合の形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

株式会社海昇

(6) 取得した議決権比率

取得前の議決権比率 ー
取得比率 100%
取得後の議決権比率 100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が、現金を対価として株式会社海昇の全株式を取得したためであります。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

みなし取得日が平成23年6月30日であるため、当第1四半期連結損益計算書には株式会社海昇の業績は含まれておりません。

3. 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	現金	850,000千円
取得に直接要した費用	デューデリジェンス費用等	67,356千円
取得原価		917,356千円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん金額 468,757千円

(2) 発生原因

今後の事業展開によって期待されるシナジーを含む将来の超過収益力から発生したものであります。

(3) 償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。